

羊の毛でジゲおこし タペストリーづくりに奮闘中！

気高町 宝木地区公民館



地域を流れる河内川^{こうち}の河川敷で、2頭の羊が飼育されています。その名は、「しろ」と「くろ」。

この2頭から刈り取った毛を使って特色ある事業をしようと、宝木地区公民館を中心にメンバーが集まり、現在、タペストリー作りに取り組んでいます。刈り取った羊毛から作品完成まで織り上げるのは大変ですが、地域づくりに役立ようとはがんばっています。

交通安全指導で再確認 新1年生と集団下校

福部町 福部小学校



4月11日（月）、新1年生を迎えた福部小学校で、恒例の交通安全指導が行われました。

はじめに、鳥取警察署員から横断歩道の正しい渡り方などについて説明があり、子どもたちは、真剣に聞き入っていました。その後、登校する地域ごとの班に分かれて、新入生の安全を確認しながら一緒に集団下校しましたが、引率する上級生も、少々緊張した様子でした。

きれいな鳥取砂丘で 観光客を迎えよう！

鳥取砂丘



4月17日（日）、観光シーズンを前に、恒例の砂丘一斉清掃が行われました。

晴天の中、市民のみならずをはじめ、企業や市民団体など約3400人に参加していただき、約3トンのごみが収集できました。

今年は、昨年の台風の影響もあってか、海岸沿いには、大きな材木などたくさんのごみが漂着し、参加者は汗をかきながら清掃に励んでいました。

官民合同による 初の海難救助訓練を実施

鳥取港第4防波堤周辺



4月15日（金）、鳥取港で海難事故を想定しての救助訓練が行われました。

この訓練は、鳥取県漁協、鳥取海上保安署、湖山消防署、市消防団賀露分団などが参加し、官民連携による救助体制などの確立を目的に行われました。海中に転落した釣り人救助の訓練では、県の防災ヘリコプターが捜索し、その連絡で漁船が現場に急行、迅速な連携で救助していました。